

揖保川流域委員会現地視察時の説明

栗栖直轄管理区間（清水井堰付近）

(バス車内での説明：清水井堰付近)

河川管理者 今バスが上流に向かって停まっていますが、ここは本川の揖保川から3.8キロ上流の地点でございます。左手に堰が見えます。栗栖川は直轄管理区間が約7kmございますが、ここでは約600トンの水が流下するという計画になっています。計画洪水流量が毎秒600トンということです。しかしながら、今現在は約300トンを流下させる能力しかないというところでして、資料5のところには先ほどと同じグラフがついてございますが、この栗栖川の中では一番流下能力の低いところということになってございます。